

日本社会福祉教育学会ニュース

No.2 2006（平成18）年7月25日

第2回(2006年度)日本社会福祉教育学会全国大会 開催要綱

1. 開催主旨

大学・養成校の多様化および学生の多様化、専門職養成教育と教養としての社会福祉教育の関係、社会福祉教育に関する用語や範囲の整理など社会福祉教育をめぐる課題は多い。社会福祉士養成のあり方やカリキュラムの見直しが検討されようとしている今、本大会では、これら諸課題を取り上げ、社会福祉教育の対象や、カリキュラムのあり方、教育評価法の開発などについて考えます。

2. 日時

2006（平成18）年11月3日（金・文化の日）

3. 会場

同志社大学 寒梅館（京都市上京区烏丸通上立売下ル）（地図参照）



4. テーマ

「社会福祉の教育から学びへ—社会福祉教育研究の対象と方法」

（同志社大学寒梅館）

5. プログラム

	11:30	12:30	45	16:00	18:00	19:00	21:00
11月3日 (金)	受付	開 会 式	①シンポジウム	②自由研究報告	総 会	③立食セッション	

①シンポジウム『社会福祉教育研究の対象と方法』

報告者：「専門職養成教育としての社会福祉教育の特色」宮田和明（日本福祉大学学長）

「大学教育の変化・問題点」川廷宗之氏（大妻女子大学教授）

「社会福祉教育に関する用語整理・範囲」小山 隆氏（同志社大学教授）

コーディネーター：米本秀仁氏（北星学園大学教授）

②自由研究報告（報告20分、質疑10分）

自由研究報告は、申込数によって会場を複数設ける場合があります。

③立食セッション

寒梅館 1F レストラン「Hamac de Paradis（アマーク・ド・パラディ）」に場所を移し、シンポジストを囲み、自由意見交換・懇談をしながらの立食形式の夕食会です。

6. 参加費

学会参加費：①会員 5,000 円 ②非会員 6,000 円 ③院生・学生 3,000 円

立食セッション参加費：5,000 円

7. 自由研究報告について

会員の自由研究報告の募集をおこないます。希望する方は下記要領により応募してください。

①報告資格のある方は、会員及び2006年8月31日までに入会申込をした方。

②別添の「報告要旨」に記入の上、8月31日までに学会事務局あてに送付下さい。「報告要旨」の

提出をもって申込とします。応募のあった「報告要旨」をもとに報告の採否を審査し、採否の結果を9月中旬に連絡いたします。

下記の様式をご参照の上、作成してください。学会ホームページ(<http://www.n-fukushi.ac.jp/jissyu/jsswe/>)からダウンロードしたファイルをご自身のパソコンに取り込みファイル上書きをし、メールに添付して投稿を行ってくださっても結構です。

(1)用紙サイズ・枚数: 1 発表につき A4 版2ページの横書き

(2)余白: 上下左右各 25mm(目安)

(3)フォント: 主題:12 ポイントゴシック

副題:10.5 ポイントゴシック

所属・氏名:10 ポイント明朝

キーワード:10 ポイント明朝

見出し:10.5 ポイントゴシック

本文 10 ポイント明朝/1 行 45 字程度

(4)記述内容

a.テーマ

b.発表者所属および氏名(共同研究者所属および氏名)

c.キーワード(3つ程度)

d.研究目的

e.研究の視点および方法

f.研究結果

①原稿の上部には枠を設定し、上記の a. b. c. を明記してください。

②①の下部に d. e. f. を記載してください。

③臨床例等の記述にあたっては、プライバシーの保護など、研究上の倫理問題の観点からの配慮に十分留意してください。人名、地名、職場名、学校名などの固有名詞は用いず A 県、B 市、C さん、D 施設などと表記し、実際のイニシャルは用いないでください。

③ 報告要旨の送付は、郵送あるいは e-mail 添付送付のみ受け付けます。要旨送付時には報告者の連絡先(名前、所属、住所、e-mail、電話、FAX 等)を明記しておいてください。

《報告要旨送付先》

郵送: 〒470-8295 愛知県知多郡美浜町奥田

日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター気付

日本社会福祉教育学会事務局

Email: jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp

8. 参加申込および宿泊交通について

添付の申込書にて10月21日(土)までに参加申込をしてください。参加費・立食セッション参加費は当日受付にてお支払いください。申込方法は、郵送、FAX、e-mail のいずれでも受け付けます。

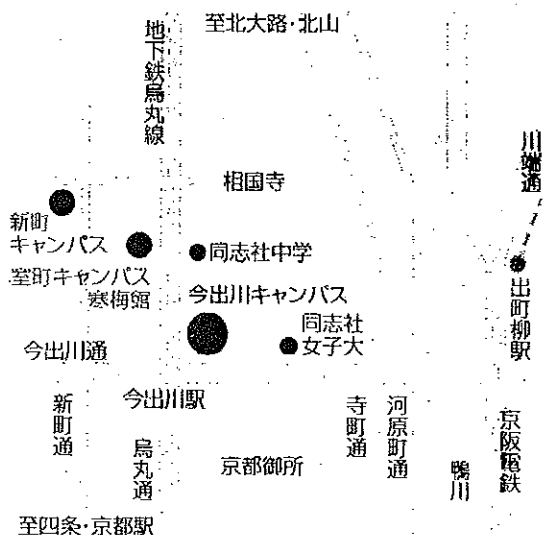
《申込書送付先》

郵送の場合: 自由研究報告の送付先と同じ

Email の場合: 自由研究報告の送付先と同じ (jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp)

FAX の場合: 0569(87)2340

※ 本学会では宿泊・交通の斡旋はいたしません。11月4・5日に同会場で開催される「社会福祉教育セミナー」に併せて参加される方は、そちらの参加申込書にて宿泊を申し込むことが可能です(11月2日分の宿泊予約も可能)。同セミナー申込書には「お支払い関係」という



項目がありますので、本学会参加に掛かる宿泊費分のみ別請求にすることも可能です。同セミナー開催要項および参加申込書は、社養協・学校連盟・精養協加盟の各学校あてに送付しておりますが、お手元のない方は、日本社会福祉士養成校協会(<http://www.jascs.jp/>)または日本社会福祉教育学校連盟(<http://www.jasw.jp/>)ホームページからダウンロードできます。セミナーの申込・宿泊等に関する事項は、同セミナーの代理店「(株)トップツアー」にご連絡ください。

宿泊を各自で確保される方は、この時期は秋の観光シーズン中の連休のため京都市内のホテルの確保が困難と思われるのでご注意ください。

同志社大学今出川校地への交通につきましては、同志社大学ホームページ(<http://www.doshisha.ac.jp/access/>)等でご確認ください。

第3回理事会 概要

日時：2006年6月4日（日） 10:00-14:00

会場：四谷福祉会議室（新宿区三栄町8 森山ビル西館5階）

出席：宮田和明 川廷宗之 米本秀仁 牧野忠康 高橋信行 黒木保博 小山隆 宮城孝
中谷陽明 川上富雄 杉山克己（監事） 明星智美（事務局）

●報告事項

1. 学会ニュースの発行……4月12日付けで発行し、「入会のお誘い」も同封した。
2. 会員状況……5月31日現在の会費納入状況は66.3%。メール環境のある会員は82名/95名。
第3号からはニュース配信をメールでおこなうが、メール環境が確認できない会員には、当面、紙媒体で郵送する。
3. 社会福祉系学会連絡協議会への加盟は決定事項であったが、分担金（30,000円）を支出することを確認。

●協議事項

1. 新規入会者の承認

第2回理事会以降23名の入会申込みがあり、23名全員の入会を承認。

2. 学会規約類の整備状況……

- ①規約は作成済みであるが、入会資格に関しては内規を設けることを検討する。社会福祉教育に従事しているほか、現場従事者で在学中の方などさまざまなパターンが想定されるため、整理をしたうえで内規を整備する。正会員・準会員等のあり方を含め次回理事会に提案する。
- ②入会申込書の研究領域の見直しをする必要があるため、川廷副会長から修正案を提示し、各理事の意見を求めることとした。
- ③旅費規程……当面は、現地旅費を含む旅費の実費申請により支払う。日当はなし。宿泊費は実費（上限10,000円）。事務局も同様。

3. 各種委員会の活動

- ①広報委員会……学会ニュースNo.2を発行する（理事会報告、大会案内、入会者紹介）。規約類の公表については「しおり」での配布はせず、ホームページと機関誌に掲載する。
- ②機関誌編集委員会……「日本社会福祉教育学会会誌」創刊号を発行する。内容は、設立記念講演・シンポジウムの記録で構成、巻頭言（会長1600字）と規約類を掲載する。テープ原稿修正期限を6月末とし、以後、編集委員会に一任。第2回大会を発行日とする。

4. 第2回大会について

- ①日程の変更……当初予定していた2日目（4日）に、学校連盟・社養協「社会福祉教育セミナー」の特別プログラムが入る可能性があるため、大会日程を1日間のみに変更する。
- ②第2回大会企画内容……省略（開催要項参照）。
- ③大会の準備体制……学会ニュースNo.2による大会案内と自由研究報告募集をおこなう。報告者は、会員及び8月31日までに入会申込をした方とする。募集様式は、「報告要旨の原稿」（A4版2枚）とし、学会ニュースでの配信とホームページへの掲載をする。
- ④自由研究報告について……応募期限を8月31日とし、「報告要旨」の提出をもって申し込みとする。応募のあった「報告要旨」をもとに報告の採否を審査する。9月17日の4役会議で報告の採否を決定し、9月末を原稿の最終締切とする。
- ⑤大会事務局体制……牧野理事と事務局で本部体制をとり、学生アルバイトを依頼する。
- ⑥旅行社への依頼……社会福祉教育セミナーの取扱い業者（東急観光）に、本大会の扱いもあわせて委託可能かどうか（委託内容を含む）を中谷理事が確認する。

5. 「社会福祉教育研究の対象と方法」に関するディスカッション

宮田会長からは、専門職養成教育としての社会福祉教育の特色について、養成校（大学）・学生の多様化、社会福祉士の社会的位置づけと学生の進路の視点から報告がなされた。川廷副会長からは、近年の大学教育の変化・問題点について、伝承から創造への内容の変化、講義から演習への形式の変化、福祉教育の専門職養成教育化、実践・実習教育の重視の諸点から報告がなされた。小山理事からは、「社会福祉教育」に関する用語の整理や、範囲に関して、海外や他の専門職との養成課程の比較を交えた報告がなされた。ディスカッションでは、教育の対象や、カリキュラム編成に当たってのコアカリキュラムの成熟度、教育評価研究の未成熟などの意見が交わされた。これをふまえ、第2回大会でのシンポジウムにつながりをもたせていく。

●次回理事会……11月3日（金・祝）10:00～同志社大学

新入会員

第3回理事会（2006年6月4日）におきまして、新たに23名の入会が承認されました。お名前と所属のみ掲載します。

No	氏名	所 属	No	氏名	所 属
96.	露木雅史	神奈川県立二俣川看護福祉高等学校	108.	高山亨太	筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程
97.	杉山正樹	金城大学社会福祉学部	109.	相澤譲治	神戸学院大学
98.	所 めぐみ	龍谷大学社会学部地域福祉学科	110.	吉村夕里	京都文教大学人間学部臨床心理学科
99.	仁木 淳	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	111.	今野範子	宮城学院女子大学
100.	上野千代子	日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター	112.	原 久美子	大正大学社会福祉学部
101.	渡辺裕一	健康科学大学健康科学部福祉心理学科	113.	森下陽美	大正大学社会福祉学部
102.	佐藤仁之	静岡英和学院大学	114.	高木博史	大正大学社会福祉学部
103.	壬生明日香	福山平成大学福祉健康学部福祉学科	115.	下村幸仁	会津大学短期大学部社会福祉学科
104.	大月和彦	文京学院大学教育学部心理教育課程	116.	井関良美	武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科
105.	浅野貴博	京都国際社会福祉センター	117.	越石 全	学校法人西野学園札幌医学校技術福祉専門学校
106.	梅澤嘉一郎	川村学園女子大学教育学部社会教育学科	118.	佐々木 幸	大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科
107.	保正友子	大正大学社会福祉学部社会福祉学科			

- 第3回理事会承認分を合わせて、会員数が118名になりました。ホームページから入会申込書もダウンロードできます。推薦人は不要です。で、同僚や知り合いの先生などにぜひ入会をお勧め下さい。
- (学会ホームページ URL: <http://www.n-fukushi.ac.jp/jssyu/jsswe/index.htm>)
- 第3号(次号)以降の広報紙はEメール・ホームページでお届けします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、まだEメールアドレスをお知らせ頂いていない方は、至急Eメールにて事務局にお知らせ下さい。また、Eメール・インターネットを使用されない会員には郵送にてお届けしますので、事務局までお知らせ下さい。
- 理事会報告にもありますように、第2回大会の開催にあわせて「学会誌」創刊号を発行いたします。創刊号は昨年開催された設立記念大会の内容を纏めたものとなりますが、第2号以降は会員の皆様からの投稿論文を掲載する予定です。編集・投稿規定等が決まりましたら学会ホームページおよびニュースにてお知らせします。
- 第2回大会への参加および自由研究報告をお待ちしております。奮って申込をお願いします。
- 学会ホームページに最新のお知らせや規約・諸規定等を順次掲載していきますので、時々訪問してください。
- 立ち上がったばかりの学会のため活動資金が十分ではありません。入会金および今年度会費の納入がまだの方は早めの振込にご協力ください。よろしくお願いします。(入会金 1,000 円 年会費 6,000 円) [郵便口座 00800-8-149492 日本社会福祉教育学会] または [銀行口座 三菱東京 UFJ 銀行 武豊(タクトヨ)支店[587] 3689818 日本社会福祉教育学会]

日本社会福祉教育学会事務局 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター気付

TEL 0569-87-2971 FAX 0569-87-2340 E-mail jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp